

「生きるを創る」街づくり プロジェクト

「生きる」ための全てを創り、共に発展する街づくり

優良環境技術をベースとした、
生活環境システムの再構築とそれに付随する波及ビジネスの
世界的な発信戦略
究極の「エコシティー」
「完全循環社会と経済的発展の両立」

2008, 7, 9

事業背景と目的

背景

20世紀の世界的な高度成長によって、大幅に悪化した地球環境は、周知の事実である。

現在、世界的な環境対策が騒がれているが、根本的解決を実施出来る技術は、単体では存在しない。

温暖化問題、水不足、大気汚染、土壌汚染、ゴミ問題、食料不足、新種ウイルスの発生、など世界中には様々な環境問題が山積みである。

文明の進化を覚えてしまった人間は、元の不便な生活には、戻れない、しかし、子孫の為にも環境は改善したい。その根本的な矛盾を画期的な技術を利用することで、解決したい。

目的

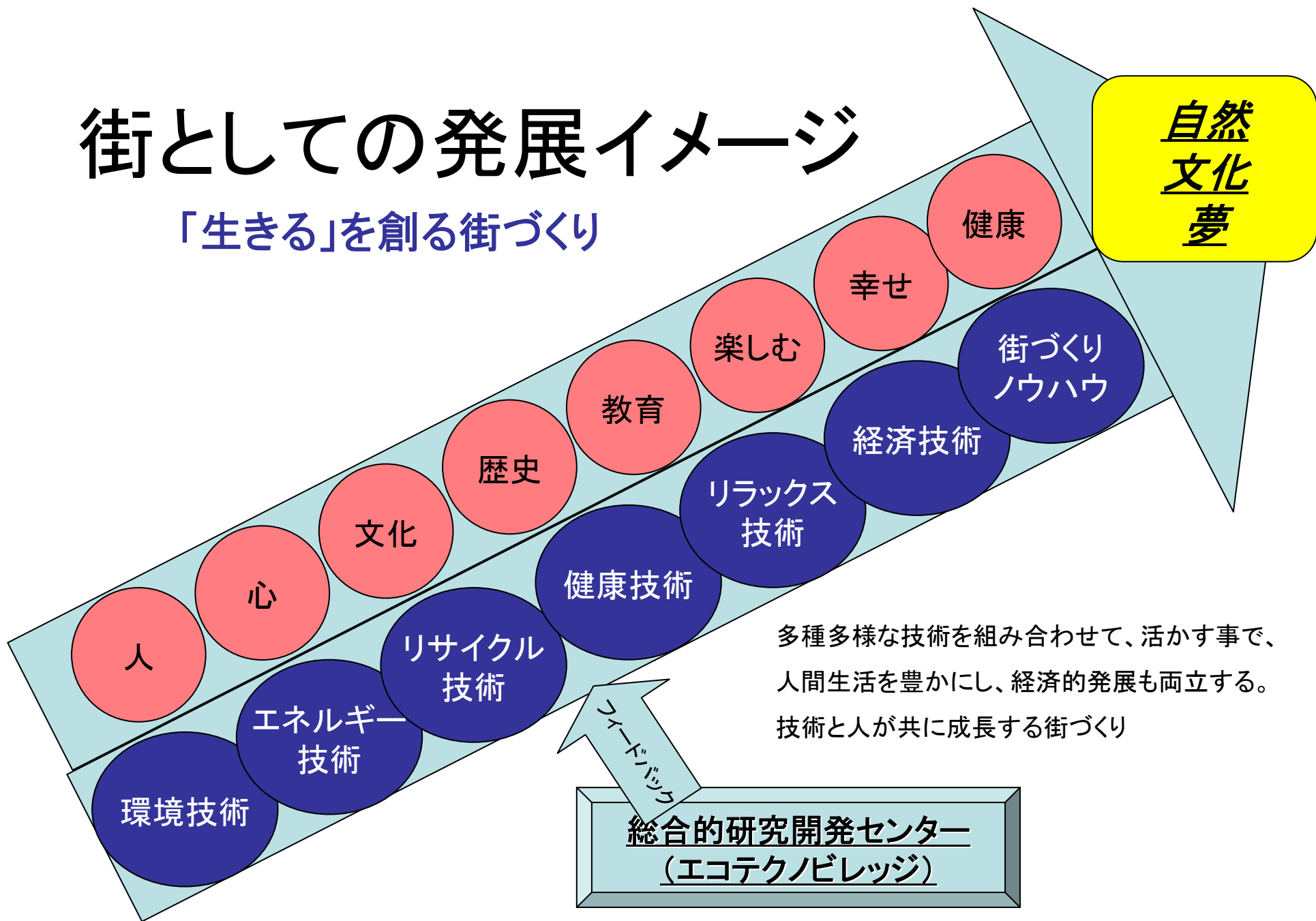
このプロジェクトでは、アビオス(株)の所有する実践的で効果的な環境技術と、世界中の優れた環境技術を複合的に、かつ、相乗的に組み合わせることによって、世界中の主な都市にパッケージとして普及させ、究極の循環型街づくりシステムを完成させることが目的である。

街づくりとは、人間の生活環境全てに関係し、衣食住を中心としている。そのため、使用する技術は、多方面に渡り、点的な地域に限定した考え方でなく、世界中の点と点を結び、トータルでの物質循環社会「エコシティー」を作り上げることを目的として、このプロジェクトをスタートする。

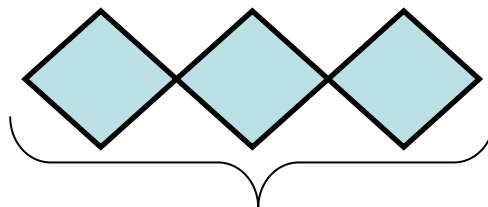
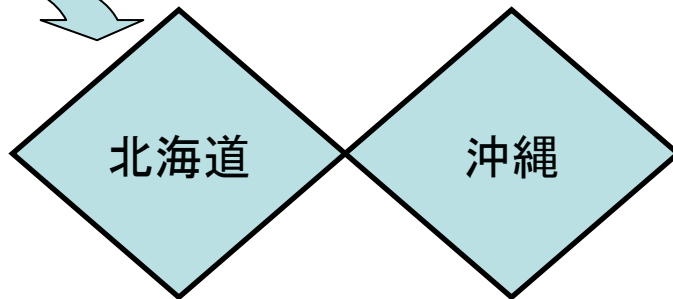
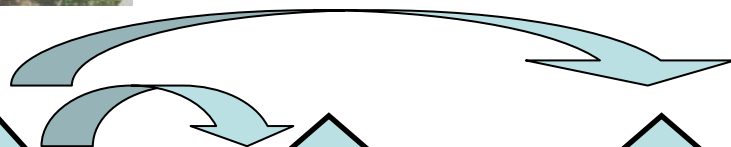
街としての発展イメージ

「生きる」を創る街づくり

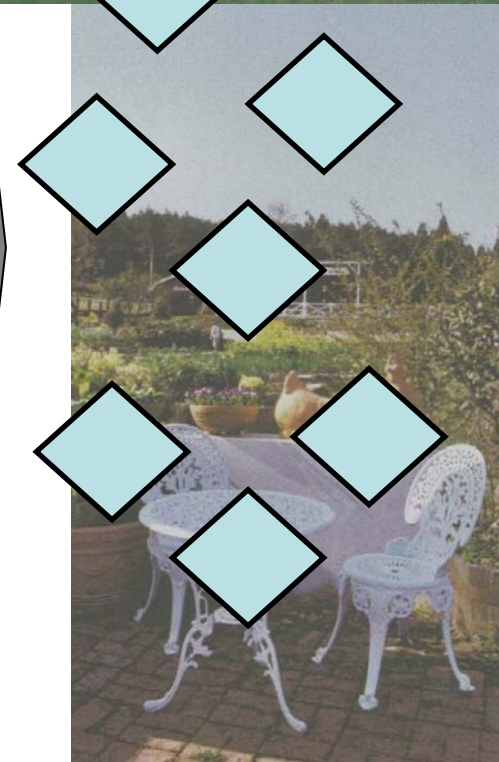
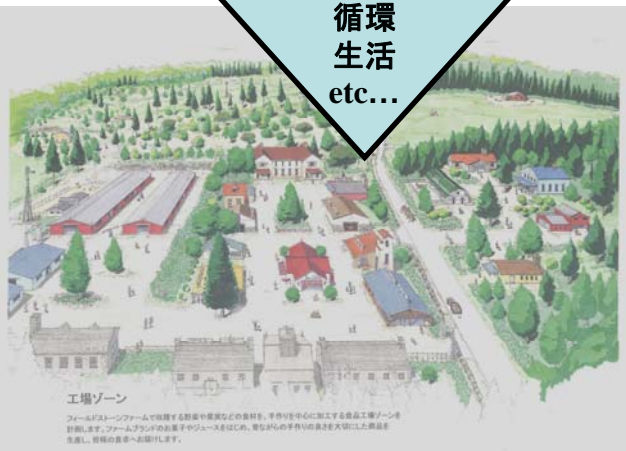
自然
文化
夢



エコシティー展開イメージ



全国へ展開する



理念と考え方1

- エコシティーの基本的考え方は、「環境と経済発展の両立」だが、街という要素を細かくしていくと、「環境、経済、住宅、生活、食、文化、地域社会」がエコロジカルな新理念に基づいて運営される事が必要。
- 今回のプロジェクトは、日本とか海外の一部をターゲットとした物でなく、世界中をターゲットとしたプロジェクトで無ければならない。そのため、基本的な、エコロジカルプロセスを日本で完成させ、そのシステムをパッケージで世界中へ展開することを目的とする。
- 地域特性や、気候、土壌、文化、それぞれに合わせた、地域の特色や歴史、文化を活かした、プランニングを行うこととする。
- まず、日本でのモデルを作る場合は、別紙、フィールドストーンファームの企画書を基本的考え方とする。これは、日本の特徴に合わせたプランニングになっている。

理念と考え方2

- 既存の環境技術は、世界中に制先端の技術が多数存在するが、開発費に莫大な費用を必要としたり、企業が小さな地域でのリターンを考えるので、結局は、イニシャルコストの高い物になり、なかなか普及しない。まして、単独技術で、尻切れトンボの技術では、完全な循環型社会は作れない。
- よって、ほぼ、完成している環境技術を安くで入手し、複合的な環境技術を組み合わせ、人間生活に絡み合う技術パッケージをイニシャル、ランニング共に、安く普及することが求められる。そのためには、一部の限定した地域のみで開発資金の回収を考えることは出来ない。世界中の主な都市例えば、20~100カ所に普及することを計画すれば、それぞれの地域で、安く、環境技術を使うことが可能になる。そのことによって、環境と経済の発展を両立することが出来る。
- 完成度の高い環境技術を安くで入手するためには、ロシアが最も適している。ソ連時代に国家予算をかけて、研究開発してきた高度な技術が、埋もれているからだ。この技術を発掘し活用することが、このプロジェクトのポイントである。
- 基本ベースはロシアだが、世界中の優れた技術で、安い技術は積極的に開発していく姿勢が必要。大企業が開発した技術は、高く付く傾向があるのが事実である。中小企業や、個人が開発している技術を発掘することが中心となる。
- いくら優れた環境技術でも、高くては、経済の論理によって発展が停滞してしまう。環境と経済の両立が出来るから、このプロジェクトは価値がある。

「理想」でなく「現実」

良くある 理想論 でなく

確実な技術に裏付けされた 現実

によって理想を実現します。

次ページ以降の、実現可能な環境技術素材を複合的に、活用することで、
世界初、究極のエコシティーづくりをスタートします。

具体的営業品目リスト1

- **ZOO COMPOSUT**

イエバエを利用した有機廃棄物の再資源化システム(畜糞、人糞、食品残渣、など)有機肥料と抗菌性高タンパク飼料の生産 肥料は有機農業に飼料は、有機畜産に循環。

- **バイオガス発生装置**

ZOOCOMPOSUTで処理しにくい有機廃棄物は、この方法でバイオガスと有機液肥を生産する。ガスは、そのまま熱エネルギーとして使う。又は、ガスタービンによって、発電。LPG車に車の燃料として使用などが可能。

- **超高効率熱発生器**

暖房エネルギーコストを約30%まで減らし、CO2削減や、化石燃料の消費を減らす事が可能。ビル、温泉、ホテル、プール、ビニールハウス、地域熱供給などに利用可能。

- **安価な風力発電機**

中型風力発電機はイニシャルコストが高く普及していない。そこで、市場相場の1/3で、同等の機能を有する風力発電機を普及し、自然エネルギーを活用する。

- **木材強化技術**

世界的な違法伐採や、木材資源の減少の中、スペックの低い杉などの低級木材を加工することで、耐久性、強度ともに約4倍にする。加工コストは、安価。技術普及により、森林の間伐や、手入れが進み、森林の健全化に貢献できる。

- **波動発電所**

海の波の力を利用し、発電する。簡易で安価な装置のため、イニシャルコストの回収が早い。自然エネルギーを活かすため、環境負荷がゼロ。世界中の海へ普及する。波は、24H有るので、安定した電力が見込める。

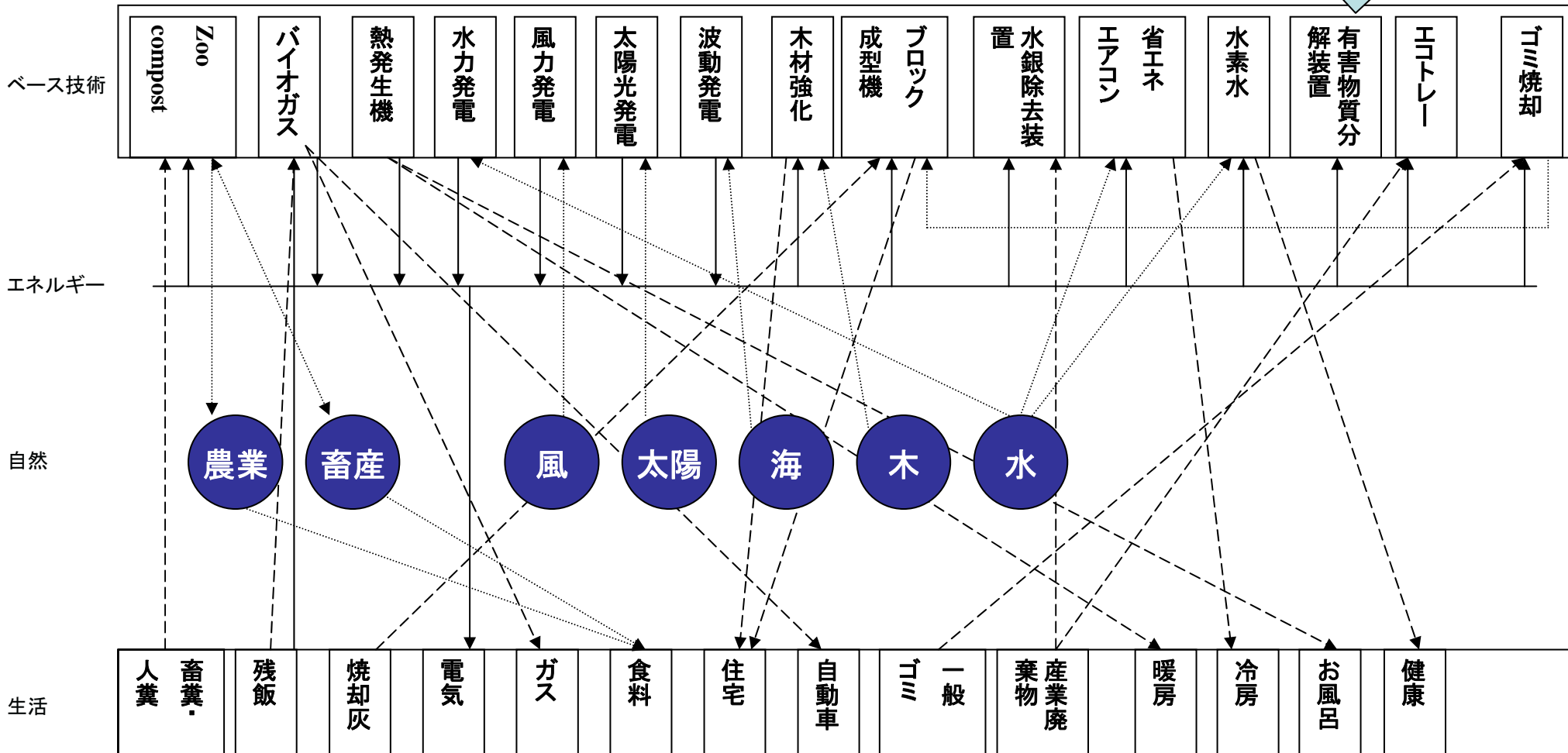
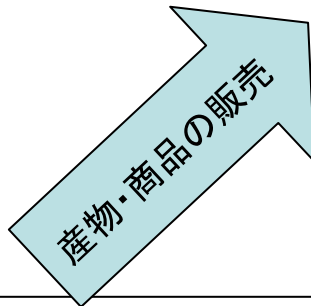
- **省エネルギーブロック成型機**

あらゆる粉体(灰、石膏、スラグ、土など)を焼かずにブロック化可能。埋め立て処理するはずの粉体からブロックを造り、建材や、ガーデニングに利用可能。

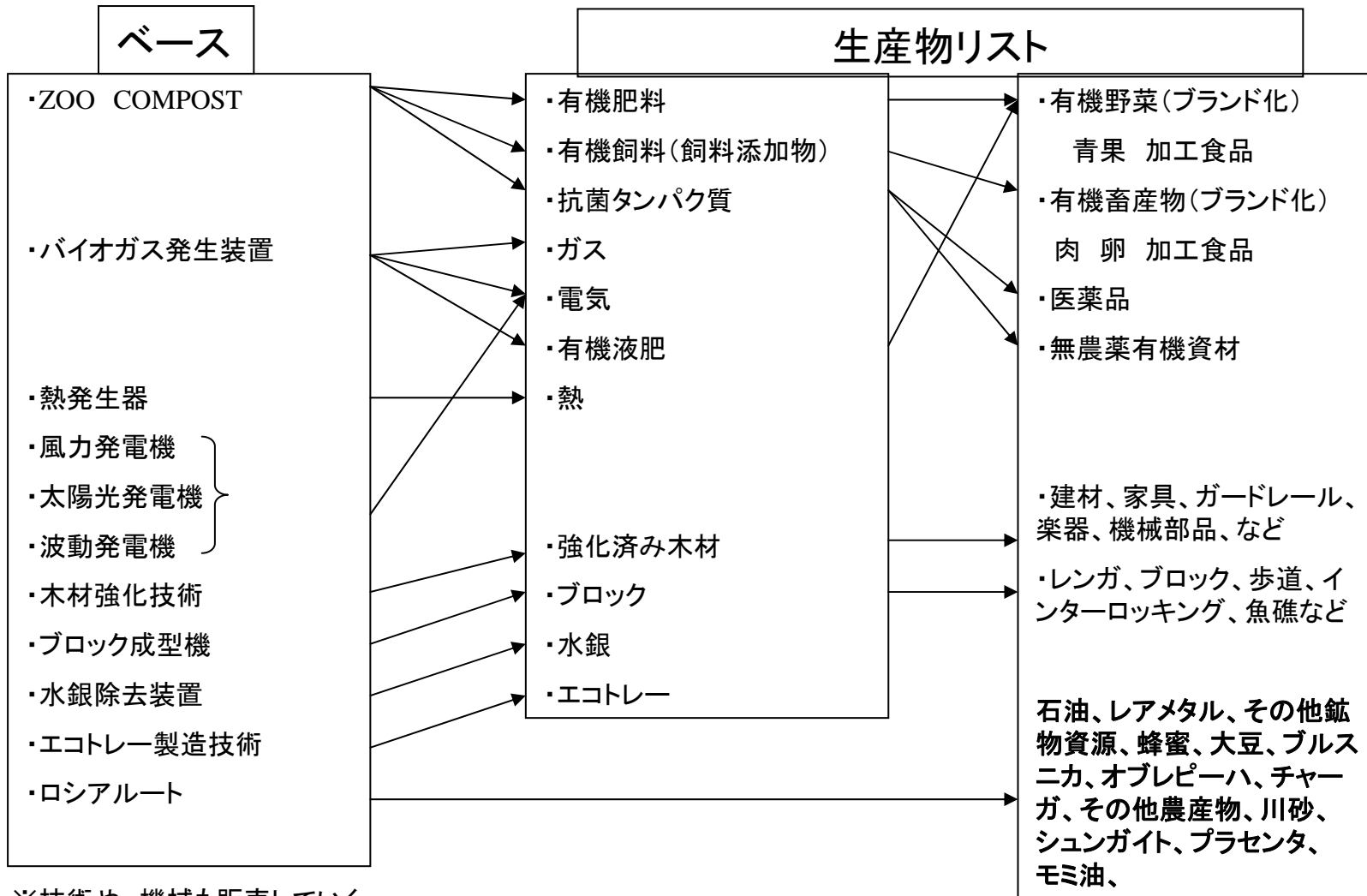
具体的営業品目リスト2

- 水銀除去リサイクル装置
廃棄物(蛍光灯、電子部品など)に含まれる水銀を高品質で取り出す装置。取り出した水銀は、販売出来る。
- 超高効率太陽光発電
シリコンを利用した太陽光発電の効率は、現在20%だが、この技術は、40%の効率を発生。コストは、1/4
- 省エネエアコン 水を使い空気を冷やす。冷房コストは、20~50%
- 有害物質分解技術 ソノパロクソンシステム PCBやダイオキシンを分解し、無害化する。
- 高濃度水素水製造技術 高濃度水素水技術を、健康、美容、予防医学などに応用 潜在的マーケットは大きい。
- 無害ゴミ焼却装置 あらゆるゴミを無害で焼却する。灰は、分別収集し、一部、リサイクル可能。
- シベリアの石油資源権利
- レアメタル鉱山権利
- 有機大豆250ha権利
- コンクリート用川砂権利 現在、日本では、海砂を洗って使用
- 機能性野菜種子 栄養価や、機能性を高めた野菜種子
- ロシアルート
15年に渡り開発してきた貴重なルート。信用と信頼が出来上がっており、個人的信頼によりビジネスが可能。案件1500以上
- 独自性の高い完成された循環型街づくりプラン

エコシティー循環イメージ



利益になる生産物リスト



※技術や、機械も販売していく

オリジナル
ブランド
として
販売

街づくりの内容 案

街づくりのノウハウ・先端技術、素材を活かした、
アビオスオリジナルのノウハウを総称して
「パトリアタウン構想」とする。

以下ページで、構想概要を説明する。

パトリアタウン構想

【シニアタウン計画】

あらゆる世代の故郷づくり
“生きる”を創る街

- ・ ~10代 → 自分のために学ぶ時代
- ・ 20~50代 → 家族や社会のために働く時代
- ・ 60代~ → 自分のために楽しむ時代

環境

循環型環境技術を導入
国内外の環境技術の
モデル展示場として活用
エコ村

※独自の環境技術の導入

ロシア環境技術
ズーコンポストシステム
熱発生機・木材強化技術
バイオガス発生・風力発電など

世界中の
最先端エコ技術

全国へ
ブランド発信

自活する

自然との共存
自給自足を実現する
ゲストとの交流

都会からの
ゲストの受入れ

ホテル・別荘

近郊の自然環境
山・川・海

働く

農業・畜産・加工
安心・安全な本物の
ファームブランドづくり

※オリジナル商品による差別化

ローズヒップ

ブランド農産物

シベリア野生資源

地域の特産品

モミ精油

化粧品

楽しむ

趣味・文化・教育
癒し・予防医学
介護・リハビリ

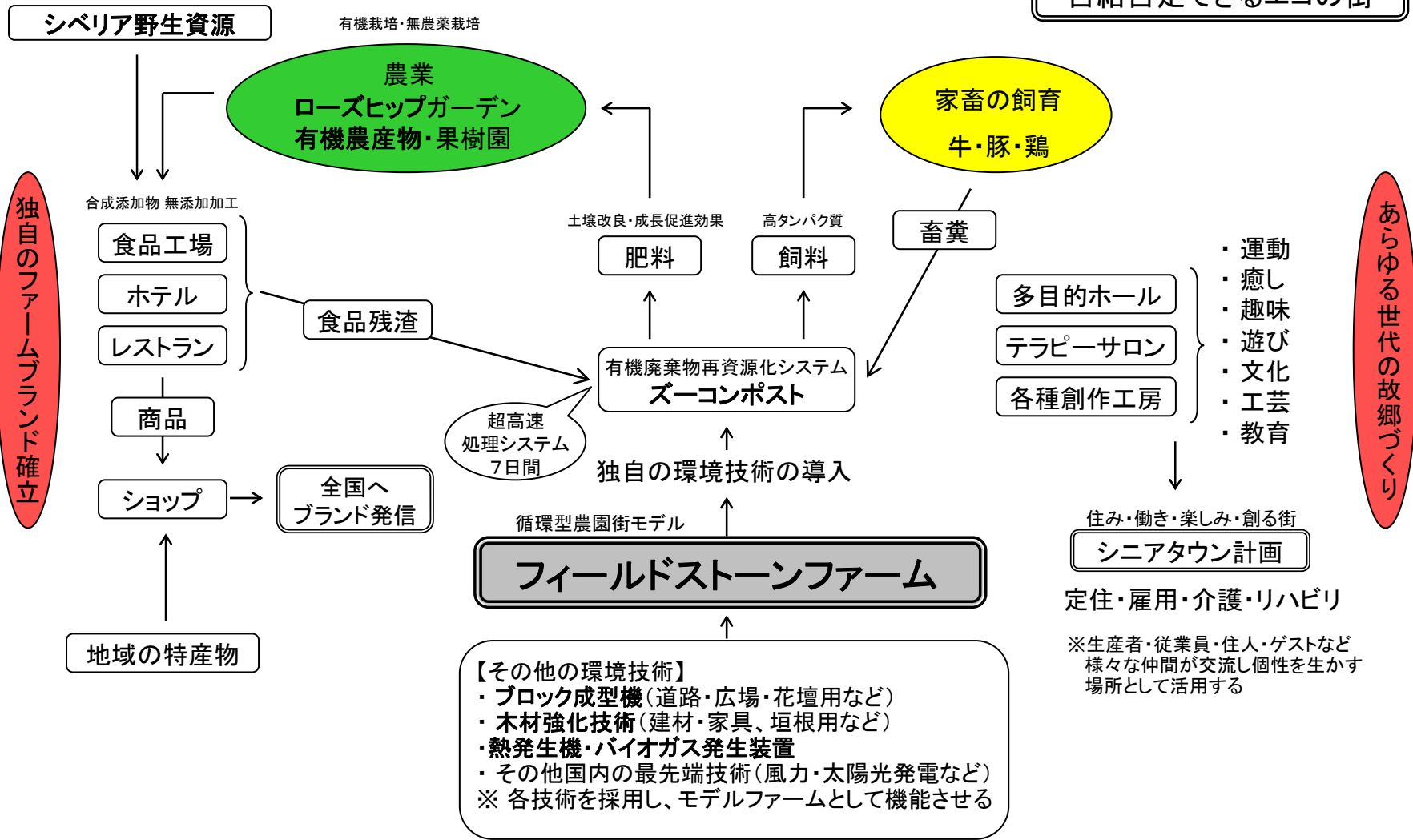
病院

セラピーサロン

工房・ホール

環境問題を考慮した循環型農園街づくり パトリアタウンの計画イメージ

自給自足できるエコの街



【環境】

自然環境に負荷をかけない
独自の循環型環境技術を導入することにより、
廃棄物を再資源化して街づくりで活用する。

◎ ズーコンポスト(有機廃棄物再資源化システム)

1. 有機廃棄物(畜糞・食品残渣など)を7日間で超高速処理する
2. 土壌改良効果のある『肥料』と、豊富なアミノ酸を含む『飼料』を生産する
3. 公害につながる物質の発生が極端に少ない



肥料:農園やガーデンで使用
飼料:家畜の飼育に使用

◎ ブロック成型機

1. 粉体であれば、土・灰・木チップ・廃棄物など、幅広い原料の成型が可能
2. 熱や大きな力をかけずに成型が可能
3. 本体重量1700kgと軽量でコンパクトな為、2トン車で搬入が可能



土塀・道路・花壇
テラスなどに使用

◎ 木材強化技術

1. 建材に向かない杉や雑木などの丸太を強化し、品質をアップさせる
2. 耐水性や難燃性を高め、木材の寿命を2~4倍アップさせる
3. 全国の低級材や廃材を、新たなエコ建材として利用する



建材・家具・デッキ
柵・工芸品などに使用

◎ 超高効率熱発生器

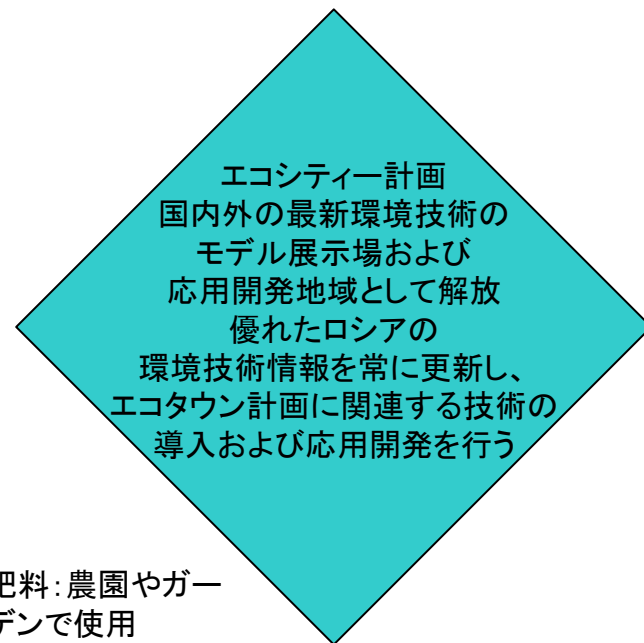
◎ 安価な中型風力発電機

◎ バイオガス発生装置

など



エネルギーとして利用。
暖房、発電、ガソリン



詳細は、個別別紙資料を参照願います。

【働く】

安心・安全な独自のファームブランドをつくり全国へ発信する
農業・畜産をはじめ様々な雇用が生まれ
新たな活躍の場が与えられる



◎ 農業・ガーデニング

1. 初の国産ローズヒップの栽培や、高栄養の新品種野菜の完全有機栽培
2. 独自肥料ムスカの使用をはじめ、有機栽培や無農薬栽培
3. 素材本来の良さを引き出す
4. 生産履歴を明確に



安全な食材の確保
楽しみながらの農業
自然とふれあいながらリハビリとして活用

◎ 畜産/ペット動物の飼育

1. 独自飼料配合による飼育
2. ローズヒップチキン&ポークの生産
3. 養殖



安全な食肉の確保
動物との関わりから癒しを学ぶ

◎ 加工

1. 手作り、合成添加物の排除、素材を生かす加工を目指す
2. 規格外品の食材の100%活用を徹底する
3. 地域の特産品(食材・加工品)を見直す
4. 付加価値の高いシベリアの野生資源(ベリー・はちみつなど)を原料に使用する



オリジナルブランド商品の開発

【楽しむ】

趣味や特技を満喫する
若者や子供に技術や知識を伝えていく
仲間・自然・動物を通して癒し学ぶ

◎ 趣味・娯楽

1. 自然・季節を楽しむ
2. 音楽祭
3. 各種アート&クラフト工房

◎ 交流・文化

1. シニアから若者(子供)への伝えること
2. 自然から学ぶ、本物を知る
3. コミュニケーション

◎ 癒し・健康

1. 日頃の身体の疲れを癒すセラピービレッジ
2. ハーブ・モミ油を活用して健康な体づくり＝予防医学
3. ファームをリハビリの場として活用する
4. 介護施設や病院を誘致し安心して生活できる環境を整える



→ 文化の発信
文化の育成
物をつくる楽しみの提供

→ 違う世代との交流
道徳・倫理・礼節など
リアルな体験による学習

→ ストレス社会からの解放
生きる気力を取り戻す
将来に対する安心の提供

環境技術部 案

環境技術部は、世界中の技術＋ロシアの先端技術を中心に、コストパフォーマンスに優れた環境技術を活用して、

それぞれの技術事業化　＋　街づくりへの応用・活用
を行う事を目的とする。

素材開発と素材の実用化へ向けた実用化研究開発が必要。

環境技術部(R&D)に関しては、別冊にまとめてあるので、そちらを参照下さい。